

令和 3 年 8 月 2 3 日

徳島県地域医療総合対策協議会長 殿

徳島県地域医療支援センター長

(徳島大学病院長)

香 美 祥 二 [公印省略]

専門研修プログラムに関する関係者による協議会での確認事項について (依頼)

平素は、本センターの運営に関し、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省医政局医事課から令和 3 年 7 月 2 9 日付け (別添) により、医師法第 1 6 条の 1 0 の規定に基づき、一般社団法人日本専門医機構から厚生労働省に対して提示のあった医師の研修に関する計画 (以下「研修プログラム」という。) について徳島県へ情報提供がありました。

本県に関する研修プログラムについて、貴会にてお諮りいただき、意見がある場合には 9 月 3 日までに徳島県から厚生労働省へ提出する必要があるがございます。

つきましては、8 月 1 9 日に開催しました「令和 3 年度 第 1 回徳島県地域医療支援センター運営会議 (令和 4 年度開始専門研修プログラムに関する地域協議会)」において関係者と協議した結果を別添いたしましたので、お取り計らいくださるようお願いいたします。

徳島県における専門研修プログラムに関する関係者による協議会での確認事項について

1. 名 称

令和3年度 第1回徳島県地域医療支援センター運営会議（令和4年度開始専門研修プログラムに関する地域協議会）

- ・徳島県地域医療支援センター運営会議委員に、県内の専門研修プログラム統括責任者又は担当者を加え、徳島県における専門研修プログラムに関する地域協議会として開催。

2. 日 時

令和3年8月19日（木） 午後7時00分から午後8時40分まで

3. 開催形式

Microsoft Teams による WEB 開催

※会場出席も可能（会場：日亜ホール Green（徳島大学病院 外来診療棟5階））

4. 出席者

別添「出席者名簿」参照

5. 確認事項

- （1）内科，小児科，精神科，外科，整形外科，産婦人科，麻酔科及び救急科については、都道府県ごとに複数の基幹施設が置かれていること。
- （2）各都道府県のキャリア形成プログラムの運用において、診療科別の専門研修プログラムの定員配置が適切なものであること。
- （3）各研修プログラムが都道府県内の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていること。
 - ・診療科別の専門研修プログラムの定員配置が医師少数区域などに配慮されていること。
 - ・各研修プログラムの連携施設が、各都道府県の偏在対策に資するものであること。
- （4）専門医の取得と併せて臨床研究に従事する医師を養成する臨床研究医コースをシーリングの枠外にて40名から設けること。
- （5）特定の地域や診療科において従事する医師を確保する観点から、地域枠の従事要件に配慮された研修プログラムであること。

6. 協議結果

別添「意見様式」のとおり

以 上

**令和3年度 第1回徳島県地域医療支援センター運営会議
(令和4年度開始専門研修プログラムに関する地域協議会)出席者名簿**

＜運営会議委員＞

令和3年8月19日開催

所属名・職名	氏名	備考	出欠
センター長	香 美 祥 二		会場
副センター長	赤 池 雅 史		会場
副センター長	谷 憲 治		会場
副センター長	鎌 村 好 孝		Web
徳島大学病院長	(香 美 祥 二)		—
徳島県立中央病院長	葉 久 貴 司		Web
徳島市民病院長	三 宅 秀 則		Web
徳島県鳴門病院長	邊 見 達 彦		Web
吉野川医療センター 院長	橋 本 寛 文		Web
徳島赤十字病院長	後 藤 哲 也		欠席
那賀町立上那賀病院長	鬼 頭 秀 樹		Web
阿南医療センター 院長	玉 置 俊 晃	(代理)正宗 克浩	Web
徳島県立海部病院長	浦 岡 秀 行		Web
つるぎ町立半田病院長	中 園 雅 彦		Web
徳島県立三好病院長	住 友 正 幸		Web
徳島県医師会長	齋 藤 義 郎		欠席
徳島県市長会:三好市長	高 井 美 穂		Web
徳島県町村会:那賀町長	坂 口 博 文		Web
全日本病院協会徳島県支部長	田 蒔 正 治		Web
徳島県有床診療所協議会長	森 俊 明		Web
徳島県保健所長会長	大木元 繁		Web
徳島県病院局 病院事業管理者	北 畑 洋	(代理)新居 徹也	会場
徳島県保健福祉部長	伊 藤 大 輔		欠席

<専門研修プログラム統括責任者>

【徳島大学病院】

基本領域名	氏名	備考	出欠
内科	佐田 政隆		Web
小児科	渡邊 浩良		欠席
精神科	沼田 周助		Web
皮膚科	久保 宜明		Web
外科	島田 光生	(陪席)西 正暁	Web
整形外科	西 良浩一	(代理)西庄 俊彦	Web
産婦人科	岩 佐 武		Web
眼科	三田村 佳典		欠席
耳鼻咽喉科	武田 憲昭	(代理)北村 嘉章	Web
泌尿器科	金山 博臣	(代理)高橋 正幸	Web
脳神経外科	高木 康志		Web
放射線科	原田 雅史		Web
麻酔科	田中 克哉		Web
病理	上原 久典		Web
臨床検査	—		—
救急科	大藤 純		Web
形成外科	橋本 一郎		Web
リハビリテーション科	佐藤 紀		Web
総合診療	(谷 憲 治)		—

【徳島大学病院以外の県内基幹施設】

病院名(基本領域名)	氏名	備考	出欠
徳島県立中央病院(内科)	(葉 久 貴 司)		—
徳島県立中央病院(精神科)	大森 隆史		Web
徳島県立中央病院(救急科)	三村 誠二		Web
徳島県立中央病院(総合診療)	市原 新一郎		欠席
徳島市民病院(産婦人科)	古本 博孝		Web
徳島健生病院(総合診療)	今井 正雄		Web
徳島赤十字病院(内科)	細川 忍		Web
徳島赤十字病院(整形外科)	武田 芳嗣		Web
徳島赤十字病院(救急科)	福田 靖		Web
つるぎ町立半田病院(総合診療)	(中園 雅彦)		—
徳島県立海部病院(総合診療)	影治 照喜		Web

<陪 席>

所属名・職名	氏名	出欠
徳島県立三好病院 事務局 総務担当 主事	松 村 祐 介	WEB
三好市役所 保険医務課 主査	中 川 和 昭	WEB
徳島県 病院局 次長	松 本 光 裕	会場
徳島県 病院局 総務課 職員担当 課長補佐	長谷部 直 子	会場
徳島県 保健福祉部 医療政策課長	廣 瀬 和 久	WEB
徳島県 保健福祉部 医療政策課 主任	阿 佐 豪 洋	WEB
徳島県 保健福祉部 医療政策課 主任主事	竹 本 優 貴子	WEB
徳島県地域医療支援センター センター長補佐	寺 嶋 吉 保	WEB
	川 下 陽 一 郎	WEB
徳島県地域医療支援センター 特任助教	大 浦 雅 博	会場
	鹿 草 宏	WEB
徳島大学病院 総務課 専門研修係長	山 上 真 樹 子	会場
徳島大学病院 総務課 専門研修係 特任事務員	阿 部 友 美	会場
徳島大学病院 総務課 専門研修係 事務補佐員	米 倉 香 織	会場
徳島大学病院 総務課 専門研修係 事務補佐員	稲 木 朋 子	会場

意見様式

都道府県名：徳島県

基幹施設名：徳島大学病院

診療科領域名：内科

プログラム名：徳島大学病院内科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：小児科
プログラム名：徳島大学病院小児科専門研修医
(専攻医)プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設を置くことになっているが、二次医療圏域を含め小児医療が必要とされる医療機関は連携施設として網羅されており、研修内容の質の担保及び指導医の効率的な配分といった観点から基幹施設は単一であることが望ましい。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

カリキュラム制による研修が可能であるとともに地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：皮膚科
プログラム名：2022年度 徳島大学医学部
皮膚科研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域医療の経験を積む研修コースが設置されている旨記載があるとともに地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：精神科
プログラム名：徳島大学病院連携施設
精神科専門医研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：外科
プログラム名：徳島大学外科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設を置くことになっているが、県内の外科関係者によって施設・地域を超えた繋がりを構築しており、県を挙げた連携体制による若手医師の育成を図るため、基幹施設は単一であることが望ましい。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

専門研修と業務従事を両立できる研修パターンが提示されているとともに地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県

基幹施設名：徳島大学病院

診療科領域名：整形外科

プログラム名：徳島大学 整形外科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県

基幹施設名：徳島大学病院

診療科領域名：産婦人科

プログラム名：徳島大学産婦人科
研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県

基幹施設名：徳島大学病院

診療科領域名：眼科

プログラム名：2022年度 徳島大学眼科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県

基幹施設名：徳島大学病院

診療科領域名：耳鼻咽喉科

プログラム名：令和4年度徳島大学医学部
耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：泌尿器科
プログラム名：徳島大学泌尿器科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠の義務年限を前提とした地域医療枠コースが設置されているとともに地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：脳神経外科
プログラム名：脳神経外科専門研修
徳島大学 プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：放射線科
プログラム名：徳島大学病院放射線科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：麻酔科
プログラム名：徳島大学病院麻酔科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

麻酔科医が必要とされる医療機関は連携施設として網羅されており、研修内容の質の担保及び指導医の効率的な配分といった観点から基幹施設は単一であることが望ましい。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

義務年限を果たすためにプログラムの2年以上の休止を特例として認めるとともに地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：病理
プログラム名：徳島大学病理
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：救急科
プログラム名：徳島大学病院 救急科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：形成外科
プログラム名：徳島・四国・旭川形成外科
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：リハビリテーション科
プログラム名：阿波徳島リハビリテーション科
(徳島大学病院拠点)
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島大学病院
診療科領域名：総合診療
プログラム名：2022年度 徳島大学AWA広域
総合診療専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

基本定員が2名のところを5名に定める配慮がなされているとともに地域枠が業務従事する条件となっている医療機関が研修病院群に含まれている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県

基幹施設名：徳島県立中央病院

診療科領域名：内科

プログラム名：徳島県立中央病院内科専門研修プログラム
“徳島の未来を担う内科専門医育成プロジェクト”

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島県立中央病院
診療科領域名：精神科
プログラム名：徳島県立中央病院精神科
専門医研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島県立中央病院
診療科領域名：救急科
プログラム名：徳島県立中央病院救急科
専門医研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県

基幹施設名：徳島県立中央病院

診療科領域名：総合診療

プログラム名：徳島県 総合診療専門医養成プログラム
『藍Projects』

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島市民病院
診療科領域名：産婦人科
プログラム名：徳島市民病院
産婦人科研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県

基幹施設名：徳島赤十字病院

診療科領域名：内科

プログラム名：徳島赤十字病院
内科専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島赤十字病院
診療科領域名：整形外科
プログラム名：徳島赤十字病院
整形外科専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島赤十字病院
診療科領域名：救急科
プログラム名：徳島赤十字病院
救急科専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

県内に複数の基幹施設が置かれていることを確認した。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島健生病院
診療科領域名：総合診療
プログラム名：徳島健生病院
総合診療専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：つるぎ町立半田病院
診療科領域名：総合診療
プログラム名：四国・美馬 総合診療専門医
後期研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

医師少数区域に配慮されている。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。

意見様式

都道府県名：徳島県
基幹施設名：徳島県立海部病院
診療科領域名：総合診療
プログラム名：南阿波総合診療
専門研修プログラム

1. 基幹施設又は連携施設に関する意見（3（2）①に関するもの）

該当しない。

2. 定員配置等に関する意見（3（2）②に関するもの）

適切に配置されている。

3. 医師確保対策又は偏在対策に関する意見（3（2）③に関するもの）

県内の複数の医療機関が連携施設となっており、偏在対策に資するものである。

4. 臨床研究医コースを設けることに関する意見（3（2）④に関するもの）

臨床研究医コースの設置については賛成であり、徳島大学病院の内科及び整形外科において募集の準備を進めている。

5. 地域枠の従事要件に配慮した研修プログラムであることに関する意見（3（2）⑤に関するもの）

徳島県の地域特別枠医師は、徳島大学病院基幹型専門研修プログラムに登録することとなっている。

6. その他

一昨年度及び昨年度も提示したシーリングに関する意見（下記）に基づく改善がなされていないことに関して強く改善を要望する。

＜一昨年度及び昨年度の意見＞

地域医療を支えている公的医療機関において、若手医師が少なく、医師が高齢化しているという現状から、提示されている専攻医シーリング数では、地域医療機関に若手医師を十分に配置できなくなり、さらにそれが現在の地域医療機関医師の離職を誘発する結果、地域医療の崩壊を惹起してしまうという共通認識を確認した。特に内科については地域医療機関からの医師配置要請が多いことから、2019年度実績若しくはそれ以上の専攻医の確保に努めるよう、内科専門研修プログラム統括責任者を含めた関係者へ強く要請した。